



家庭学習について

12月8日、9日に、佐賀県の学習状況調査[12月調査]が行われました。今後、設問ごとの正答率や誤答等を分析し、成果と課題が明確にされます。学力向上の改善策として、各学校においては、『西部型授業』の取組や校内研究等で、授業を工夫されています。また、学力向上のためには、授業に生かす家庭学習も大事です。家庭学習の内容を見直し、学習の習慣化を図りながら、主体的に学ぶ子どもを育てていきましょう。

①教師が課す復習や予習などの宿題

基礎的・基本的な学習内容の習得を図ることができます。その日の内容の復習や次の授業に生かせる予習を取り入れることで、授業と家庭学習の連続性を図ることができます。本時の学習の発展的な内容や生活に活用させる内容に取り組ませることで学力向上が期待できます。

【留意点】①ねらいと学習方法の説明 ②授業での活用 ③学年に応じた量の調整 ④チェックと評価

【メニュー例】（復習）「異分母分数の計算」に備えた公倍数の問題 （活用）英語を使った観光案内の作成

②自分で課題を見つけ取り組む自主学習

自分の課題を克服したり、興味・関心に応じて力を伸ばしたりすることができます。自分で決めた内容を自分で決めた量や時間で取り組むことで、生活時間の有効的な使い方を身に付けさせることができます。

【留意点】①学習のルールやメニューの確認 ②生活時間の見直し ④評価の可視化

【メニュー例】慣用句調べ、新聞記事を視写、世界遺産調べ、図形見つけ等

小中連携を図った家庭学習の実践

家庭学習の取組においては、各学校の実態に応じて、内容や方法を工夫されていることでしょう。中学校のテスト期間中を「家庭学習強化週間」とし、家庭との連携を図りながら、家庭学習に対する意識を高め、習慣化につなげている小学校の例を紹介します。

この取組の利点として、学校と保護者が一体となって取り組めること、重点目標を示すことで意欲的に取り組めること等が挙げられます。

【保護者の声】

- ・テレビを見る時間が少なくなり、集中してできました。やる気が普段とは全く違いました。
- ・去年に比べ集中力や積極性が出てきました。
- ・時計を見て○分まで頑張れば40分になるということを考えて取り組めていました。

保護者への通信

第3回 家庭学習強化週間の取り組みについて (10/21水~10/26月)

第2回の家庭学習強化週間の実施力ありがとうございます。全校的に得点も上がり、学習習慣が少しずつ身についてきているようです。今回は土日の復習をどちらかに集中して取り組めるように、土曜か日曜を選択して取り組むこととしています。

今月の重点取り組み（※9月実施で確認だった項目）
※下記の点について進捗と向上しましたが、継続して重点目標とします。

- 集中して取り組むこと
- ていねいに取り組むこと
- 土日の学習習慣定着

1 方法 家庭学習チェックカード配布されます。
※6年生は保護者へも配布されます。

2 宿題の内容 ○全校統一して取り組む内容（漢字・計算・日記）
○学年に応じて取り組む内容（指導・ノート・文法・読書・英語・算数）

3 日程 第4回 11月21日(土) 11月27日(金)
第5回 12月4日(土) 12月10日(金)
※10/21~10/26日は10/27日(土)・10/28日(日)実施

・全校統一して取り組む内容
(漢字・計算・音読・日記)

・学年に応じて取り組む内容
(自学、各教科の予習復習)

児童の日記

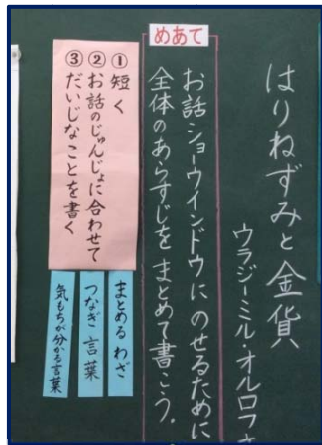
漢字	読み	書き	回数																
もじとろくのくもん	すらすら(50分)	1																	
人	う	す	ら	と	あ	さ	り	て	り	り	り	り	り	り	り	り	り	り	り
ま	さ	か	の	ぶ	に	み	る	一	し	よ	び								
し	ら	ふ	ら	せ	れ	つ	ん	か	ま	は	く								
ア	ツ	日	で	し	ぜ	ん	な	ら	日	は									
か	ら	は	す	ア	ン	は	ア	で	は	ヨ									
ち	ア		ハ	ト	リ	シ	カ	ク	冬										
ス	ウ	イ	ガ	ザ	ワ	グ	あ	が											
カ	フ	の	の	果	ン	ク	ク	リ	い										
サ	ウ	の	り	の	い	カ	ク	ス	ま										
サ	ウ	せ	ま	か	ク	ス	す	て	え										
セ	ガ	も	ん	ア	マ	ス	ず												
せ	が	ら	で	か	ズ	カ													
冬	は	冬	の	い	い	と	う												

児童の日記には、テーマや字数等条件が付加されています。また、家の人のサインや担任のコメントでチェックと評価もなされています。



主体的な学びの充実につながる手立ての工夫

学校訪問や学校支援を通して、児童生徒の主体的な学びにつながる手立てが工夫されている授業を多く見ることが出来ました。どの教科の授業にも参考になると思います。その一部を紹介します。



【児童と共に見通しを立てる】(国語)

児童の発言をもとに①～③の観点を引き出し提示しています。この観点が自分であらすじをまとめたり、全体で話し合ったりする際の手立てになります。



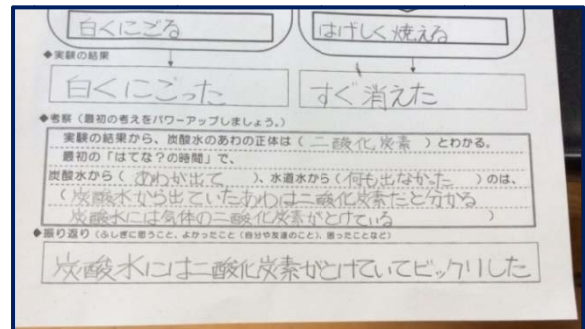
【ICTを活用して考え合う】(音楽)

タブレットを使い、演奏の様子を録画し、繰り返し再生することで、自分の演奏を振り返り、次の練習に生かすことができます。



【操作活動しながら考え合う】(家庭)

朝食の献立を考える学習です。カードによる操作活動をする中で、グループの考えを整理したりまとめたりすることができます。



【キーワードを使って自分でまとめる】(理科)

ワークシートを工夫し、キーワードに着目させることで、考察やまとめ、振り返りを自分でまとめることができます。

声の広場 第3号の発行に際して、いただいたメッセージの一部を紹介します。(要約引用しています)

《ICT利活用》について

- 電子黒板等のICTは、問題提示やめあてをつかませる際にとっても有効的だと思います。
- 理科の授業で使っています。教科書の拡大提示や注目点提示に便利です。

※《家庭学習の取組や工夫》について声をお寄せください。